聖籠町議会だより

VOL.156
9月議会
令和8年
11月13日発行

新潟県聖籠町議会



秋晴れの下 元気に楽しく公園遊び
（弁天潟風致公園）

マチイロ

無料アプリで議会だよりが手軽に閲覧できるようになりました。

ios

Andoroid

暮らしに笑顔を！住む人の安心を第一に！ (P.6)
山大夫青年会の声 (P.12)
一般質問 町政を問う (P.13)

新しい議会体制決まる

聖籠町長選挙に現職町議会議員3人が立候補したことに伴い、2人が議員を辞職し、1人が※自動失職となりました。このうち1人が副議長を務めていたことから、副議長が欠員となり、新たに副議長選挙を行いました。

なお、現在の町議会議員は、定数14人に対し13人となっています。

副議長に伊藤 千穂 議員

副議長選挙には2人が立候補し、議員全員の無記名投票による選挙を行いました。

選出された副議長には議長を補佐するとともに、議長が不在の時などにその職務を代行する重要な役割を担います。

新たな体制のもと、町民の皆さまに信頼される、開かれた議会を目指してまいります。

副議長選挙結果

伊藤　千穂議員　7票
長谷川六男議員　5票
白票　1票



伊藤　千穂 副議長

※自動失職とは？

本人が辞職届を提出しなくても、法律の規定によって自動的にその職を失うことです。

今回の聖籠町長選挙の場合、現職の町議会議員が町長選挙に立候補すると、立候補の届け出が受理された時点で、町議会議員の職を自動的に失います。



新議員を紹介

令和8年8月23日に聖籠町議会議員補欠選挙が執行され、石山さや花さん（次第浜）が当選されました。

なお、任期は令和8年8月24日から令和9年8月31日までとなります。

所属は、総務文教常任委員会に決まりました。



石山　さや花 議員

令和8年8月23日に聖籠町議会議員補欠選挙が執行され、横山えみさん（藤寄）が当選されました。

なお、任期は令和8年8月24日から令和9年8月31日までとなります。

所属は、総務文教常任委員会、広報広聴常任委員会に決まりました。



横山　えみ 議員

所信表明



手嶋（てじま）町長

このたびの町長選挙におきまして、温かいご支援を賜り、町政運営の重責を担わせていただくことになりました。ご支援いただきましたことに、改めて、深く感謝を申し上げます。西脇前町長がご尽力し、築き上げた町政運営をしっかりと受け継ぎ、町民の皆さまが未来に向けて、希望を持てる町を目指し、努めてまいります。「聖籠町は住みよいまちだ」と感じていただける環境をこれからも継続し、さらに拡充してまいります。

さて、全国規模で確実に進む人口減少、少子高齢化は避けて通れない問題です。町を取り巻く課題は、防災対策、地域経済の振興、子育て支援、障がい者支援、高齢者支援、老朽インフラの維持管理等、多岐にわたっています。限られた財源の中、堅実に施策を推進していくこと、また、国・県そして、民間との連携により、着実に前進させることが必要であります。

福祉・子育て・健康

「ひとにやさしく笑顔ですこやかに暮らせるまちづくり」を目指し、子ども、障がい者、高齢者の皆さまへの施策を、継続・拡充してまいります。

防災・安全・環境管理

「安全・安心で快適なまちづくり」を目標に、防災資機材等の備えには万全を期するとともに、中学校校舎の空調設備整備、避難所の整備を進めてまいります。また、公共施設・遊休資産の総合的な管理を行い、未活用資産の処分を進め、維持管理費の削減につなげてまいります。

産業・経済振興

「豊かさと活力に満ちた地域地場産業の振興」のため、暮らし応援事業、農業経営安定化の収入保険加入支援、中小企業者への貸付金利子補給、保証料補給などのきめ細かな施策を継続してまいります。

企業誘致・地域開発

「新潟東港工業地帯の企業誘致・開発促進」のため、国・県、そして民間企業との連携を強化し、着実な推進に努めてまいります。

行財政改革・財政運営

「確実な行政運営・堅実な財政運営」を進めるにあたり、行財政改革を進め、町の歳入に見合った歳出の管理を徹底してまいります。

新たな委員構成が決まる

委員会は、議案等を詳しく審査するために設置されています。聖籠町には、3つの常任委員会と、議会運営委員会があります。傍聴を希望される方は議会事務局までお越しください。

総務文教常任委員会

町の財政や税金、環境や教育などに関する事務の調査並びに議案、請願、陳情等の審査を行います。

◎宮沢　さやか
○斎藤　豊
石山　さや花
横山　えみ
須貝　龍夫
宮沢　光子

厚生産業常任委員会

町の福祉や産業、道路、水道などに関する事務の調査並びに議案、請願、陳情等の審査を行います。

◎髙崎　美由貴
○川上　りな
長谷川　進一
栗原　博久
長谷川　六男
中村　恵美子
伊藤　千穂

広報広聴常任委員会

年4回の議会だよりの発行などにより、議会に関する情報を広く町民に知らせ、町民の議会に対する関心を高める役割を果たします。

◎須貝　龍夫
○斎藤　豊
横山　えみ
川上　りな
長谷川　進一
伊藤　千穂

議会運営委員会

円滑な議会運営を行うため、議案や議会会議規則、委員会条例、議長の諮問事項について調査します。

◎長谷川　六男
○宮沢　さやか
髙崎　美由貴
中村　恵美子
伊藤　千穂

9月定例会は、9月16日から10月1日までの16日間の会期で開催しました。主な議案では、工事請負契約の変更契約締結等がありましたが全て可決されました。

令和7年度決算審査は認定、請願3件も採択されました。

一般会計補正予算では、歳出の主なものは屋内遊び場の工事に設計誤りがあり経費の変更契約、消防団第4分団の全国大会出場のための経費等がありました。

一般質問には、補選で当選した2人を含め13人中10人が登壇しました。

9月議会 定例会

屋内遊び場の工事設計に誤り

現在、町が整備を進めている屋内遊び場の整備費に、約2千万円の増額がありました。

原因は、屋内遊び場に設置する空調機器の冷媒管を1本に集約する予定でいましたが、取り付けの性質上、集約が不可能であることが発覚したためです。

屋内遊び場整備工事の契約は5月の臨時会で議決しましたが、増額に伴い、契約内容を変更することになりました。

とが起きるか分からない。特に新築と違い、増改築だといろいろな面で増額になるので、今後十分に気をつけて担当課として進めてほしい。

子ども教育課長　今回はかなり専門的な部分があり、職員でのチェックが非常に難しかった。

今後、設計会社に委託するときは、設計書に記載する機材等、メーカーの仕様を十分確認するよう徹底し、再発防止を図りたい。


順調に工事が進む「あそVIVAせいろう」

議員　聞き取り時にメーカーに確認しなかったとのことだがなぜか。

子ども教育課長　通常のGHPエアコンの場合、系統統合ができるものと思い確認をしなかった。

議員　町から設計側に確認や、書面で求めることをしなかったのか。

子ども教育課長　われわれとしても、残念ながらそこまでの知識がなかった。

議員　今後どのようなことが起きるか分からない。特に新築と違い、増改築だといろいろな面で増額になるので、今後十分に気をつけて担当課として進めてほしい。

子ども教育課長　今回はかなり専門的な部分があり、職員でのチェックが非常に難しかった。

今後、設計会社に委託するときは、設計書に記載する機材等、メーカーの仕様を十分確認するよう徹底し、再発防止を図りたい。

消防団10月31日全国大会出場

議員　団員出動報酬310万8千円、旅費135万2千円になっている。

これは消防団の全国大会のものと思うがこの内訳を知りたい。

生活環境課長　出動報酬は、10月31日までポンプ車の練習日を27日間予定している。

次第浜の班員は出動選手も含め24人分と、町幹部13人分として計上している。

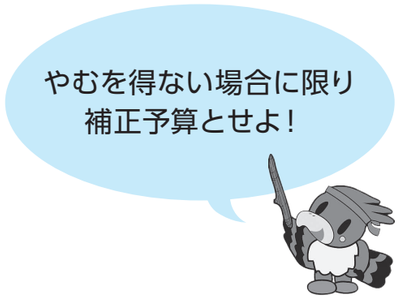
旅費については、全国大会は都内での開催だが、千葉県での宿泊を予定し2泊3日としている。宿泊費は1人あたり1万4400円。宿泊費等については消防団と事務局を含めて40人分を計上している。

補正予算

多額の支出を伴う事業は原則として当初予算で計上を

屋内遊び場備品購入に995万円

詳細な設計をする前で具体的な内容が確定していなかったため、当初予算への計上ができず、今回、内容が確定したことによる補正であり、やむを得ないものである。



項目	補正額		主な内容		総額
一般会計	1億744万円	歳入	過年度分介護給付費等負担金	962万円	96億15万円
			過年度分子どものための教育・保育給付交付金	4203万円	
			新潟県農林水産業総合振興事業補助金	565万円	
			繰越金	1544万円	
		歳出	私立認定こども園整備補助金	1195万円	
			(仮称)屋内遊び場整備工事	1881万円	
			備品購入費	995万円	
			各種スポーツ教室指導者謝礼	444万円	

主な質疑

備品購入費の内訳は

議員　備品購入費995万円について、詳細な内容は何か。

子ども教育課長　空気を入れて遊ぶ遊具、スタジオに設置するキーボード、電子ドラム、ギター、事務用品、休憩スペースの椅子、事務室の冷蔵庫・電子レンジなどである。

議員　約1千万円の予算となっている。当初予算に計上することはできなかったのか。

子ども教育課長　当初予算の段階では、まだ詳細な設計が完了しておらず、具体的な配置や必要な備品を決めることができなかった。その後、詳細な設計の完了と庁内での検討を踏まえ、必要な備品が具体化したことから、今回、補正予算をお願いするものである。

令和7年度 決算認定

暮らしに笑顔を！住む人の安心を第一に！

～住みやすい町　県内一番をめざして～

一般会計決算

歳入　**98億　9586万円　（前年度対比 4.2% 増）**

歳出　**93億　6110万円　（前年度対比 4.9% 増）**

歳入で主なものは、町税が約47億8127万円で歳入全体の48.3%となりました。町税の大半を占める固定資産税は、バイオマス発電所新規課税により前年対比で16.3%増加しました。また、他の町税やふるさと応援寄付金などの増加により歳入全体では4.2%の増となりました。

歳出では、子ども医療費を18歳まで無料化、児童生徒へのタブレット端末機器の購入、屋内遊び場設計委託料、高齢者・福祉タクシー利用助成や非課税世帯へのエアコン設置費助成などの増により4.9%の増となりました。



町商工会青年部はにぎわいを創出（町スポレク祭）



杉の子の家はパン販売で活気をもたらす（町スポレク祭）

☞☞ 注目事業 お金の使われかた（一般会計） ☜☜

令和7年度の主な歳入		令和7年度の主な歳出	
町民税（個人）	6億3843万円	屋内遊び場設計業務委託料	2594万円
町民税（法人）	4億1428万円	子ども医療扶助費	8558万円
固定資産税	34億8475万円	タブレット端末等購入	1億　229万円
市町村たばこ税	1億6410万円	暮らし応援事業補助金	4067万円
地方消費税交付金	4億8274万円	長寿応援給付金	1998万円
国庫補助金	7億4856万円	消雪パイプ整備工事	8687万円
県補助金	4億4635万円	中学校改修工事	6499万円
ふるさと応援寄付金	5億3507万円	循環バス運行業務委託料	4943万円

※万円未満切り捨て

■ 令和7年度一般会計・特別会計・事業会計 決算 ■

会計名			歳入	歳出	採決結果
一般会計			98億9586万円	93億6110万円	一般会計、特別会計、事業会計全ての決算は全員賛成で認定しました
特別会計	国民健康保険	事業勘定	12億3113万円	11億8152万円	
		施設勘定	1億1031万円	9741万円	
	介護保険		13億　841万円	12億5075万円	
	後期高齢者医療		1億4854万円	1億4569万円	
	県営開拓パイロット事業		951万円	728万円	
事業会計	下水道事業	収益的収支	7億7680万円	6億8129万円	
		資本的収支	3億1270万円	5億3832万円	
	水道事業	収益的収支	2億9095万円	2億6909万円	
		資本的収支	3249万円	1億1311万円	
合　計			**141億1670万円**	**136億4556万円**	
前年度対比			**3.5%の増**	**3.9%の増**	



※万円未満切り捨て、前年度対比は小数点２位以下を四捨五入

監査委員の意見

まちづくり４つの目標（安心安全、心豊かに、希望と活気、多様な文化）に向け計画的な財政運営を

審査に付された、一般会計、特別会計および下水道、水道会計の歳入・歳出の決算全てについて関係法令により諸帳簿等を監査したが、いずれも証書類と符合し適正であると認める。また、予算の執行に関しては、適正なものと認める。

一般会計・特別会計では全て黒字決算となっている。第５次聖籠町総合計画にある町づくり４つの目標実現のため、引き続き事業の定期的な見直しを行うなど、限られた財源と人材で効率的、計画的な行財政運営に努められたい。

令和7年度 決算 徹底検証

～使われ方をチェック～

決算審査特別委員会

決算審査特別委員会は、令和7年度に執行された一般会計・特別会計、事業会計の7事業が適正であったかを慎重に審査しました。
7年度は、物価高騰や社会保障費等の増加がありましたが、税収の増加もあり、子ども・福祉・未来への投資として、屋内遊び場設計委託料や中学校の改修工事、高齢者・障がい者への支援、消雪パイプ設置など町民生活向上に効果的につながったのかを各課へ徹底した質疑・検証を行い、執行部への意見書を提出しました。その一部を紹介します。

ふるさと納税の工夫

町特産の果樹も広くPRを

ふるさと納税返礼品の主力品をパックご飯に頼るばかりでなく、町特産の果樹を広くPRできるよう、どこにもあるような広告でなく工夫を凝らした宣伝に努められたい。



LED早期普及

防犯灯LED交換で節電

LED防犯灯は、電気料金の削減にもつながる。LED防犯灯設置等補助金の普及を図られたい。


古い蛍光灯早めの交換で節電を

猟友会

猟銃免許取得に助成

猟友会の会員も高齢化が進んでいる。猟銃免許取得の助成を行い、会員確保に努められたい。



ソフトの効果検証

新学習ソフトの学習効果

タブレット端末学習支援ソフトについて、新規導入したものに関しては、現状を把握したうえで効果を検証していく必要があり、その結果をもとに継続するかどうか判断されたい。


学習効果は向上するのか

夏祭り ごみ散乱

出店者が「ごみを回収」来場者に周知を

夏祭り会場にごみ箱の設置がなく、会場内のいたるところにごみが散乱している。来場者に対して、購入品は販売者がごみを回収していることを周知されたい。


今年もにぎわった夏祭り

光熱水費の大幅削減

社会教育施設の節電効果継続を

社会教育施設においては、前年度との比較で、光熱水費の大幅な削減がみられた。引き続き節電・節水など、小まめな気遣いで光熱水費の削減に努められたい。


職員のこまめな努力で節電効果

高齢者も安心受診

ドック受診で健康寿命を延ばそう

人間ドック助成金については、75歳を過ぎても元気で働いている現代社会、病気の早期発見が重要である。受診者を向上させる意味でも国民健康保険と同様に7割助成とすることを検討されたい。



危険な雑草木の早期解消

県河川管理者に早期解消要望を

河川維持管理業務委託料の対象である、新発田川放水路の堤防および、のり面に植栽されている樹木につる植物が繁茂している。県に対して予算要求を強く申し入れ、町も応分の負担で、このつる植物の適正管理に努められたい。


つる等雑草木の過繁茂で危険な新発田川放水路（杉谷内集落付近）

診療所の往診対応周知を

往診利用で安心治療

町診療所かかりつけの患者（特に高齢者）には、往診対応もできることを周知されたい。




かかりつけ医院で安心治療

議員表決結果報告

令和８年６月臨時会

議員個々の賛否：賛成＝○　反対＝×　欠席＝欠　※議長は可否同数時以外、採決に参加できません

提出者	議案等	川上りな	長谷川進一	栗原博久	斎藤豊	髙崎美由貴	伊藤千穂	宮沢さやか	長谷川六男	欠員	田中智之	中村恵美子	須貝龍夫	手嶋満	宮沢光子	採決結果（賛成：反対）
町長	議案第49号・第50号	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	－	可決（12：0）

令和８年９月定例会

議員個々の賛否：賛成＝○　反対＝×　欠席＝欠　※議長は可否同数時以外、採決に参加できません

提出者	議案等	石山さや花	横山えみ	川上りな	長谷川進一	栗原博久	斎藤豊	髙崎美由貴	欠員	宮沢さやか	長谷川六男	中村恵美子	須貝龍夫	伊藤千穂	宮沢光子	採決結果（賛成：反対）
町長	議案第51号～第59号	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	－	可決（12：0）
町長	議案第60号～第66号	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	－	認定（12：0）
請願	請願第２号～第４号	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	－	採択（12：0）
議員	発議第２号～第５号	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	－	可決（12：0）

令和８年６月臨時会提出議案　２件（予算１件、その他１件）
令和８年９月定例会提出議案　16件（条例１件、予算７件、決算７件、その他１件）

◎注目の議案を紹介！

議案49号　聖籠町の特定の事務を取り扱う郵便局の指定について
詳しくは12ページへ

議案50号　令和8年度聖籠町一般会計補正予算（第３号）
詳しくは12ページへ

議案52号　工事請負契約の変更契約の締結について
詳しくは４ページへ

議案53号　令和8年度聖籠町一般会計補正予算（第4号）
詳しくは５ページへ

議案60号～66号　令和７年度会計決算の認定
詳しくは６～９ページへ

請願２号～４号　請願（3件）
詳しくは11ページへ

発議２号　聖籠町議会基本条例の一部を改正する条例について
詳しくは19ページへ

みなさんの「声」　請願３件を調査

全員賛成で採択

◎「30人以下学級実現・教職員定数の改善・働き方改革」に係る意見書の採択を求める請願書

【提出者】　新潟県教職員組合下越支部　執行委員長　髙橋　義和
【紹介議員】　髙崎　美由貴・川上　りな
【請願趣旨】
きめ細かい教育活動をすすめるために、さらなる学級編制標準の引き下げ、少人数学級の実現が必要です。
【要望事項】
①学級編制標準の引き下げを検討し、30人以下とすること。
②学校の働き方改革・教職員の長時間労働是正を実現するため、加配教職員の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善を推進すること。
③自治体で国の標準を下回る「学級編制標準の弾力的運用」の実施ができる加配定数の削減は行わないこと。
④新規採用を持続的に確保すること。また、教職員が専門性を発揮し意欲をもって働くことができるよう、処遇改善に必要な財政措置を講じること。
⑤自治体が実効性のある働き方改革を実行するために必要な予算措置を講じること。
↓採択を受け、国へ意見書を提出

全員賛成で採択

◎義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める意見書採択の請願書

【提出者】　新潟県教職員組合下越支部　執行委員長　髙橋　義和
【紹介議員】　髙崎　美由貴・川上　りな
【請願趣旨】
自治体間の教育格差が生じることは大きな問題です。国の施策として定数改善にむけた財源保障をし、子どもたちが全国のどこに住んでいても、一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請です。ゆたかな子どもの学びを保障するための条件整備は不可欠です。
【要望事項】
①教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、地方財政を確保した上で義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に復元すること。
↓採択を受け、国へ意見書を提出

全員賛成で採択

◎「私立高校の入学金等の負担軽減と専任教員増など教育条件の向上をはかるため、私学助成の増額・拡充を求める意見書」の採択を求める請願書

【提出者】　新潟県私学の公費助成をすすめる会　会長　中村　直美
【紹介議員】　髙崎　美由貴・川上　りな
【請願趣旨】
私立高校生が学費の心配なく学校に通うことができるよう、また専任教員を増やしゆきとどいた教育をおこなうことができるように、私立高校への私学助成増額・拡充が求められます。
【要望事項】
①地方自治法第99条の規定により、「私立高校の入学金等の負担軽減と専任教員増など教育条件の向上をはかるため、私学助成の増額・拡充を求める意見書」を採択のうえ、関係機関に意見書の送付をおこなってください。
↓採択を受け、国と県に意見書を提出

山大夫青年会の声

質問項目

Q1 「山大夫青年会」の活動から思うことは？

Q2 町に期待することは？

Vol.29

お届けします！笑顔で集う町民の声

Smile すまいる

土田 庸雄（つちだ のぶお）さん（代表）



1 会員も徐々に増えていますが、次の世代への継承が難しいと感じています。「さいの神」がメインイベントですが、集落の皆さまが楽しんでくださるので、これからも続けていきたいです。

2 全町民が笑顔であふれ、安心して幸せに暮らせるような町づくりに期待します。

中村 睦樹（なかむら むつき）さん（会員）



1 山大夫青年会を通じて、お年寄りから子どもまで、皆が楽しく過ごせる地域にしていきたいです。

2 最近は地震や大雨等の災害が多く発生しているので、災害に強いまちづくりをお願いいたします。

佐藤 和宏（さとう かずひろ）さん（会員）



1 山大夫まつりやさいの神等のイベントに、多くの人に参加してもらい、皆さんが楽しみながら集落のつながりを作れるようなイベント作りができればと思います。

2 子どもからお年寄りまで、安心して楽しめるようなイベントや場所作りをお願いしたいです。

諏訪 哲也（すわ てつや）さん（会員）



1 小正月行事の「さいの神」をこれからもみんなで（担い手と参加者）協力して続けて行けるようにしたいです。

2 工業・農業を両立できる豊かな町づくりを期待します。

第3回 6月 臨時会

令和8年6月24日に開かれた臨時会では、一般会計に歳入歳出それぞれ9066万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を94億9271万5千円と定める補正予算を全員賛成で可決しました。

主な議案

◎マイナンバーカードの券面事項に、氏名の振り仮名の記載が新たに追加されました。これに伴い、指定郵便局において、取り扱う業務に追加をするための議案がありました。

一般会計

◎町議会議員の補欠選挙に伴う貸与品などの経費。
　また、町議会議員の補欠選挙に係る経費です。
◎消防団の県大会出場に伴う経費です。



練習の成果で最高のチームワーク

増額

9票差をどのように捉えたか

町　長　**表明遅れが僅差の一番の原因**



長谷川六男（はせがわ むつお）議員の視点

問 今回の選挙では誹謗（ひぼう）中傷がかなり多くあったと聞いた。少なからず結果に影響したと考えるが、9票差をどのように捉えたか。

町長 誹謗中傷は把握していない。9票差は立候補した時期が1カ月以上遅れ、僅差となった。

問 町長自身何を目指したいのか、柱となる公約はあるのか。

町長 今ある幸せを次世代につなぐことを、町づくりの基本としている。
　前町政の継続・発展・拡充を柱として町政を前に進めていく。

問 屋内遊び場の増額分どう思う

屋内遊び場整備工事で、エアコンの室外機と室内機をつなぐ冷媒管の積算誤りで工事費用に約2千万円の増額が生じた。
　町民への負担増につながらないか。

町長 必要な費用であり、町民各位からもご理解いただけるものと考える。

問 屋内遊び場の、他の工事に影響はないか。

町長 他には影響がないと確認が取れている。

問 約2千万円の増額分に関してどう思うか。

町長 手続きに不備があったことは、大変申し訳なく思っている。



来春の開館に向け工事が進む「あそVIVAせいろう」

新駅

新幹線新駅の設置を

町　長　**関係市町村と連携していく**



栗原博久（くりはら ひろひさ）議員の視点

問 西脇町政の継続を訴えて当選されたが、他の2人の候補者の合計得票数は1・5倍あった。それを踏まえて、新町長独自の政策で町政執行に当たってほしい。

町長 前町長の施策を確実に継続し、今ある施策を発展拡充し、堅実な町政執行にあたる。

問 町収入に占める東港固定資産税等において、ゴルフ場跡地への課税強化を図るべきだ。
　財政の健全化には必要だ。

町長 ゴルフ場跡地への課税は、調査検討の結果として行わない。

問 田中角栄先生は東港発展のためには新幹線駅を東港周辺に作るべきだとおっしゃり、その実現のために私は町議となっている。これについて前町長に私は一貫して問うてきたが、新町長の所見は。

町長 羽越新幹線は企業誘致の活性化に大きなメリットがあり、関係市町村と連携しながら取り組んでいきたい。



新幹線のイメージ

町政の継続・発展を問う

町　長　地道でも着実に住んで良い町に

継続



長谷川進一（はせがわ　しんいち）議員の視点

問 手嶋町長は西脇前町政を継続し、人にやさしく笑顔で健やかに暮らせる町づくりを図るとのことだが、これは手嶋町長が最も重点的に掲げた政策であると思う。

高齢者や障がい者などへの支援は、行政だけでは支障がある。町社会福祉協議会との連携・協力が不可決だ。今後の連携・協力はどうするのか。

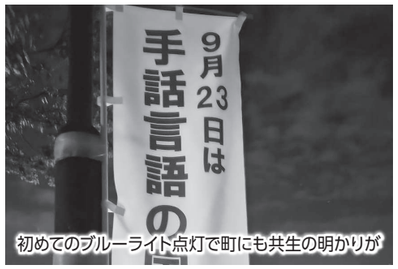
町長 町社会福祉協議会は設立以来、福祉支援に係る各種事業を担っている。今後も町福祉施策には協力・連携は不可欠だ。

農業・中小事業者への支援策は

問 農業や中小事業者への支援・暮らし応援事業継続は。

町長 農地整備や湛水防除事業等は、関係機関等と連携して整備促進を要望する。中小事業者支援は、今年度は物価高騰対策事業を実施することにより、農業を含めた小規模事業者への支援で対応している。

また、暮らし応援事業については、若者や子育て世代の暮らし応援や、町内住宅関連事業者の振興にも寄与すると考えており、令和9年度の予算編成の中で検討していく。



初めてのブルーライト点灯で町にも共生の明かりが

町民とともに描く町の未来は

町　長　できる方法を考える町政へ

指針



宮沢さやか（みやざわ）議員の視点

問 町民との対話を今後どう進めていくのか。

町長 まちづくり懇談会を今後も継続。未実施の集落から順次開催予定だ。

問 参加する機会の少ない町民の声も、幅広く聴くことが大切だと考える。無作為抽出やアンケートなど意見を聴く仕組みを検討してはどうか。

総務課長 幅広い年代から意見を聴くことは重要。今後検討していきたい。

問 職員との連携をどう図り、知識や経験を政策に生かしていくのか。

町長 職員との連携・協力は必要不可欠。職員が率直に意見や提案ができる職場づくりに努めたい。

問 職員の知識や経験、能力を生かす、適材適所の人材配置をどう考える。

町長 若手職員には幅広い業務を経験してもらい、経験を重ねる中で適材適所につなげる。管理職との面談等を通じ、職員とのコミュニケーションも図っていく。

問 町長が描くこれからの聖籠町の姿と、町民とつくる町への思いは。

町長 先人の歩みや理念を受け継ぎ、一人一人が笑顔で暮らせる町を目指す。50周年を契機に未来へ思いをつなぎ町民と共に発展する町を築きたい。


町民とともに、未来の聖籠町を築く

国の農政に物申してほしい

町　長　対策の充実を図るよう要望する

米政策



高崎美由貴（たかさき　みゆき）議員の視点

問 需要に応じた生産をという政策の下で昨年は米不足が起こり、備蓄米の過剰放出で今年は米が余っている。国のやり方に疑問を持つ。国に対し、農業者のために動くよう要望してほしい。

町長 農業者の経営安定に向けて、対策の充実を図るよう要望していく。

経営自体の検討を

問 聖籠地場物産館をリニューアルし、新たな地場物産館を作るのか。

町長 建て替えに向けて検討を進めていきたい。

問 他自治体では、指定管理者の公募によって民間事業者の提案を取り入れた事例もある。本町でもこれまでの運営方式のほか、民間への事業譲渡など、リニューアル手法を比較検討していく必要があるのではないか。

町長 経営体の在り方がどういうものが良いのか、民間が良いのか第三セクターが良いのか、今後検討をしていかなければならないと思っている。

問 屋内遊び場等の近くにあることで、相乗効果を狙えるのではないか。

町長 今の場所でも今後にぎわいが活性化できるのではないかと思っている。今の場所で適正だ。


収穫時期の長雨など、農業者を取り巻く環境は厳しい

地場物産館小規模でいくのか

町　長　建て替えに向けた検討を進める

継続



中村恵美子（なかむら　えみこ）議員の視点

問 聖籠地場物産館には、現在町から800万円の助成金を出しているが赤字である。小規模の建て替えを行い、このまま進めていいのか。

町長 建て替えを進めることを決定、安定的経営の維持のため、具体的検討を進める。

問 令和9年から、中学校の給食費無償化はできないか。

町長 給食費無償化をするには約3千万円かかる。国の動向を注視しつつ、総合的な観点で検討を続けていきたい。

問 国民健康保険診療所は、年々患者数が減少している。受診者向上のための手立ては考えているか。

町長 町診療所については、町としても課題として認識している。引き続き医師と相談の上、受診者増につながるよう具体的な施策を検討したい。

親子一緒で投票どうであったか

問 このたびの町長選挙から、親子連れ投票の啓発で投票記念証を導入したが交付状況はどうか。

選挙管理委員長 今回の町長選挙では、期日前で125枚、当日9投票区で256枚交付した。好評であった。



地場物産館本当に建て替えでよいのか

東山団地の家賃負担のありかたは

家賃

町　長　**家賃以外の助成で支援を継続**



問 東山団地の家賃を一律としている根拠は何か。

町長 雇用促進住宅として建設され、町が譲り受けた際に譲渡前の家賃水準を引き継いだ。

問 低所得世帯の家賃が過重負担になっていないか把握、評価しているか。

町長 入居時に所得要件はなく、収入状況は個人情報のため把握、評価はしていない。

問 近隣自治体の公営住宅との家賃制度の違いをどう認識し、所得に応じた家賃設定を検討したことはあるか。

町長 近隣自治体とは設置目的が異なり、周辺の民間住宅より家賃が安価なため、所得に応じた家賃設定を検討した経緯はない。

問 病気等で収入が減少した世帯への家賃減免、徴収猶予は十分な負担軽減となっているか。

町長 生活状況の急変時に負担を軽減し、生活の安定を図るものと考えている。

問 所得別家賃や新たな負担軽減策導入の考えは。

町長 家賃見直しや負担軽減策導入は考えていない。今後のニーズ、住宅事情を踏まえ必要に応じて検討していきたい。


町営住宅の家賃制度

ワクワクする「文化の柱」を

活性

教育長　**町民に応える文化事業推進**



問 スポーツと同じように、文化を「町のもう一つの大きな柱」として掲げ、福祉や教育などが抱えている問題や町の課題をみんなで一緒に解決していくような、新しくてワクワクする仕組みを取り入れた事業を推進する考えはあるか。

教育長 文化を新たな町の柱として、現代の課題解決につなげる視点に共感する。町民の芸術文化活動の支援や、社会教育課における伝統芸能の担い手・新たな文化活動の育成支援を図る方針である。

どうなっている外国人の現状把握

問 町における外国人住民は7月末現在416人（全体の約2・97％）である。育成就労制度の導入（2027年4月）によるさらなる増加を見据え、現在の管理・把握体制や刑事事件の把握状況、今後の体制はどうなっているのか。

町長 現在、住民基本台帳の登録や転出入等の管理は行っているが、外国人の在留資格や犯罪歴は国が管理し、刑事事件も警察の所管であるため、町で個別に把握する仕組みはない。


既存の施設のさまざまな活用を

障がい者雇用の状況把握を

支援

町　長　**可能な範囲で把握したい**



問 今年7月1日から障がい者雇用率が引き上げとなった。障がい者雇用の状況を把握しているか。

保健福祉課長 情報の把握は行なっていない。

問 障がい者雇用の状況や企業側が抱えている課題を把握していく考えは。

町長 町としてもできる範囲でハローワーク等を通じ把握していきたい。

問 町内企業から障がい者雇用について、課題やニーズなどを聞く場を設けてはどうか。

保健福祉課長 すべての方が住み慣れた地域で安心して暮らしていくためにも、企業から話を聞く場は重要だと考えている。今後は必要に応じて検討していきたい。

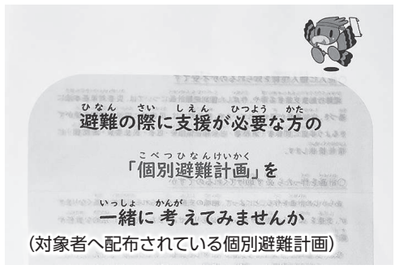
災害時に機能する個別避難計画を

問 個別避難計画の作成状況は。

保健福祉課長 令和8年度時点で作成に同意いただいた方が128人おり、そのうち42人の方の作成が完了した。

問 個別避難計画を作成した段階と状況が異なった場合、どのように計画を見直していくのか。

保健福祉課長 更新という作業は必要になると思うが、具体的にどのタイミングで更新をかけるかは今後の検討課題である。



聖籠中学校の暑熱対策は

前進

教育長　**早期設置に向け検討中**



問 6月議会で、中学校の暑熱対策について質問を行った。暑熱対策は学力向上以前の教育環境の問題である。この劣悪な環境を改善する計画は定まったのか。

教育長 2階教室への空調設備の設置を計画しており、今議会の補正予算に設計費を計上した。早期設置に向け検討を進めているが、多額の費用を要するため、国の交付金を活用する予定であり、採択状況を踏まえて実施時期を決定する。

聖籠中学校卒業証書ホルダー

問 本年3月中学校で卒業式が行われ、その際卒業証書ホルダーに記載された学校名が竹冠のない聖籠中学校となっていた。このホルダーの作成された経緯と後処理は。

教育長 令和7年度1学期、担当教員が業者へホルダーの作成を依頼したが、原稿および納品時で学校名の誤りを見落とし、卒業式で配付した。翌日生徒からの連絡で誤りが判明したため直ちに業者へ再作成を依頼し、保護者へも連絡をした。3月25日の離任式で回収し、正しいものを配付するとともに、欠席者には個別に届けた。


空調設備の早期設置が熱望される2階教室

見て 聞いて 話し合った 委員会レポート

議会運営委員会　互いを尊重する議会を目指して

【期　　日】６月22日
【研修場所】役場庁舎第２会議室
【研修事項】
・ハラスメント防止研修の実施

今回の研修では、ハラスメントに対する正しい知識を身につけるとともに、議員一人ひとりが相手の立場を尊重し、適切な関係を築くための意識を共有することを目的としました。

それぞれの立場や経験を踏まえながら意見を出し合い、和やかな雰囲気の中で率直に意見を交わすことができました。

今回の研修を一つのきっかけとして、今後も議員同士が互いを尊重し、町職員とも良好な関係を築きながら、よりよい議会運営につなげていきたいと考えています。議員改選時などの節目や、定期的な研修の実施についても検討していきます。

（文責　宮澤　さやか）



総務文教常任委員会　町内施設の安心安全のために！

【期　　日】６月26日
【視 察 先】・竹内家
・みんなの森どんぐり保育園
・結いハート聖籠
【視察事項】
・各施設の現状確認と利用状況の確認

・竹内家は非常に老朽化が進んでおり、維持するにも解体撤去するにも多額の費用がかかるとのことでした。今後どのように管理していくのか、早期の判断が必要と思いました。
・みんなの森どんぐり保育園は、経験豊富な保育士が大勢在籍しており、子どもたちが安心して遊ぶ姿がうかがえ、保育士同士の連携が良好であると感じました。
・結いハート聖籠では各部屋を有効活用しているものの、耐震化がなされていない箇所の安全性が懸念されます。今後どのように利用していくのか、再考が求められます。

（文責　伊藤　千穂）



議会基本条例を見直しました

聖籠町議会では、議会基本条例について現在の議会運営や実情に合った内容とするため、令和７年12月定例会で特別委員会を設置し、条例の見直しを行いました。

「議会基本条例」とは、議会や議員の活動に関する基本的な考え方や、町民との関わり、議会運営などについて定めた、議会の基本的なルールです。

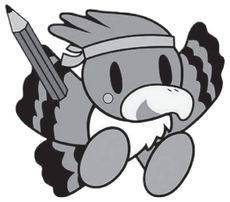
特別委員会では、各条文の内容を確認し、現在の議会の状況を踏まえて検討を行いました。

特別委員会での検討内容を踏まえ、９月定例会では基本条例の改正案を提案し、全議員の賛成で可決されました。

これからも議会基本条例に基づき、町民の皆さんに分かりやすく、開かれた議会を目指して取り組んでいきます。

◆今回の主な改正点

・東港立地企業等との意見交換に関する規定を削除
・根拠となる条例について、条例名と条例番号を明記
・条例の検証時期を「２年ごと」から「４年ごと」に変更





令和7年度 政務活動費報告

政務活動費って？…地方議会の議員が行う政策調査研究等の活動のために交付される費用のことです。聖籠町では本人の申請により月額１万円が交付されます。

議員氏名	研修費	広報・広聴費	資料購入費	事務費	人件費	支給決定額
川上りな			10,660	7,427		18,087
長谷川進一			76,752			76,752
栗原博久					120,000	120,000
斎藤豊		118,800	11,880			120,000
髙崎美由貴			71,000			71,000
伊藤千穂			33,000			33,000
宮澤さやか			36,222	8,492		44,714
長谷川六男		29,158	52,872	31,973		114,003
青木順		29,158		13,094		42,252
田中智之	13,000	29,161	12,738	28,817		83,716
中村恵美子		221,332				120,000
須貝龍夫		29,158		10,578		39,736
手嶋満	申請なし					
宮澤光子		48,576	43,328	46,543		120,000

（単位：円）

・研修費…研究会・研修会等への参加費(会費)
・広報・広聴費…議員が行う議会活動等の広報活動に要する経費
・資料購入費…調査研究のために必要な図書・資料の購入に要する経費
・事務費…事務用品の購入に要する経費等
・人件費…議員活動を補助する職員を雇用するのに要する経費
より詳細な政務活動費の報告書は聖籠町役場 議会事務局で閲覧いただけます。関心をお持ちの方はお気軽にお尋ねください。

ようこそ聖籠へ!

～ Welcome to Seiro ～

「ようこそ聖籠へ!」では、他市町村出身で、
現在聖籠町にお住まいのご家族にインタビューをします。





おおた　けんご
太田　賢吾さん
(次第浜)

happy!

今回は、次第浜集落に在住の太田さんご家族です。

Q家族構成を教えてください。
私と妻と1歳の息子の3人家族です。

Q出身地と聖籠町在住年数は?
神奈川県出身で、聖籠町に来て5年目になります!

Q町の良いところ(好きなところ)を教えてください。
自然が豊かで、果物が美味しいところです!
また、スポーツ施設が充実しているところも好きなところです!

Qどんな町になってほしいですか。
今のまま、穏やかで優しい町であってほしいです!
また、私自身、聖籠町にあるJAPANサッカーカレッジに在籍しているので、サッカーを通して、聖籠町の皆さまにチームや活動を知っていただく機会がもっと増えたらうれしいです。そして、少しでも興味を持っていただき、試合を見に来てくださる方が増えたらうれしいなと思っています。



Qどんな子どもに育ってほしいですか?
強くたくましく、自分らしく!
何事にも自信を持って、いろいろなことに挑戦できる子に育ってほしいです。

Qご家族の夢を教えてください。
家族皆、健康第一で好きなことを楽しんでhappyなfamilyでいることです!

お知らせ
～ information ～

議会トップページはこちらから

次回の定例会は、12月9日(水)開催予定です。

本会議を聴くことができます

①FM 放送
エフエムしばた 76.9MHz
②インターネットサイマルラジオ
右の2次元コードから聴くことができます。

★表紙の写真★
「秋晴れの下 元気に楽しく公園遊び」(弁天潟風致公園)

小春日和に誘われて、公園に行くと大勢の親子連れが楽しく遊んでいました。　(10月15日)

編集後記

今年は、台風や豪雨災害などが各地で発生しました。
8月末までに台風が24回と回数が多く、線状降水帯による影響で、各県に想定外の大きな被害が発生し、復旧・復興作業が続いています。
県内でもアンダーパスのある場所での注意喚起や通行止めで対応をしているようです。
今年は、亀代・山倉地区は「まちなか防災訓練」を実施し、蓮野地区は「総合防災訓練」を行いました。
災害が少ない町だからこそ、被害を最小限にするため、訓練が重要だと思います。

広報広聴常任委員会
委員長　須貝　龍夫

発行責任者	
議長	宮沢　光子
広報広聴常任委員会	
委員長	夫　龍
副委員長	豊
委員	穂　千
	一　進　川
	なみ　り　谷
	え　上　川
	山　横

発行　新潟県聖籠町議会
編集　広報広聴常任委員会
印刷　昭栄印刷株式会社

〒957-0192 新潟県北蒲原郡聖籠町大字諏訪山1635-4　TEL (0254) 27-1967　FAX (0254) 27-6133

議会だよりは町のホームページでもご覧になれます　聖籠町議会　検索

聖籠町議会だよりは、環境にやさしい植物油インキを使用しています。